

2024年3月12日

教育委員会 教育委員 殿

日本出版労働組合連合会
[Redacted]

2024年度における公正な教科書採択のために（陳情）

【陳情書の趣旨】

日頃の教育への貢献に敬意を表します。

貴職におかれましては、2024年度の中学校教科書採択に向けて、採択要綱の作成に取り組まれていることと存じます。つきましては採択過程の改善について陳情いたします。私たちの本意を真摯に受け止め、2024年度の教科書採択要綱に取り入れていただくよう強く要望いたします。

主なポイントは次のとおりです。

- 1、教科書採択のあらゆる過程において公開性を徹底すること。
- 2、実際に教科書を使用する教員の意見を最大限尊重すること。
- 3、調査研究委員会等に現場の教員を配置し、その意向を報告書に反映すること。
- 4、採択は、最終的に決定する教育委員の説明責任を明確にする方法で行うこと。
- 5、法定展示以外にも独自の展示会を開催し、保護者・住民等の意見を広く募集すること。

【本件連絡先】

日本出版労働組合連合会
[Redacted]

【陳情書】 2024(令和6)年度の教科書採択は、以下の内容を取り入れて実施すること

1、教科書採択のあらゆる過程において公開性を徹底すること

- (1)採択を決定する教育委員会をはじめ、調査研究委員会、選定委員会等を公開で行うこと。
- (2)上記の場合において、希望者が全員傍聴できるよう、最大限の努力を行うこと。傍聴者が会場に入りきれない場合は別会場を用意して審議内容を中継する、インターネットによる同時動画配信を行うなどの工夫を行うこと。
- (3)教科書発行者名は「A社」「B社」などとせず、実名を出して審議すること。
- (4)採択に関係するすべての文書（教育委員会の会議録、調査研究委員会の調査研究報告書、選定委員会等の選定理由書など）は会議後、9月1日を待つことなく、可及的速やかに公開すること。

2、実際に教科書を使用する学校および教員の意見を最大限尊重すること

- (1)見本の回覧については学校に留置される日数を十分確保し、教員（非常勤講師、免許外教員等を含む。以下同）が勤務校で調査研究できるよう保障すること。
- (2)教員が勤務時間内に展示会に行く場合は職免扱いとし、不利益扱いをしないこと。
- (3)学校票を実施して、教員が採択を希望する教科書が明示されるようにするとともに、その意向は教育委員会による採択の際に、最大限尊重すること。

3、調査研究委員会等に現場の教員を配置し、その意向を報告書に反映すること

- (1)調査研究委員会および選定審議会（委員会）に、学校の管理職だけでなく、実際に教科書を使って授業を行う教員を適切な人数配置し、その意見を報告書に反映すること。
- (2)調査研究報告書に、採択地区内の各学校の意向を記載すること。選定審議会（委員会）はその意向を最大限尊重して選定理由書を作成すること。
- (3)採択地区内の保護者・住民から公募により委員を委嘱すること。その際、文書による審査及び面接を行うなど、客観的で公正な基準を設け、それを事前に公表すること。

4、採択は、最終的に決定する教育委員の説明責任を明確にする方法で行うこと

- (1)教育委員会で採択の決定を行う際は、調査研究委員会及び選定審議会（委員会）の報告に示された選定・推薦を尊重し、それらに特段の問題のないかぎり、これに反する決定は行わないこと。
- (2)これらとは異なる決定を行う場合は、その理由を表明すること。
- (3)は1種ごとに、挙手等、各委員の意思が明示的に表示される方式で行い、無記名投票は行わないこと。

5、法定展示以外にも独自の展示会を開催し、保護者・住民等の意見を広く募集すること

(1)法定展示会

- ①できるだけ多くの保護者、住民等の閲覧を可能にするため、公民館等の閉館時間（おおむね午後9時）程度まで開催すること。
- ②土・日曜日および祝日も開催すること。
- ③会場にアンケート用紙を設置して保護者、住民等の意見を聴取し、教育委員会に報告すること。

(2)法定展示会以外の展示会

- ①保護者・住民等が教科書内容を知ることができるようにするため、法定展示以外にも独自の展示を行うこと。
- ②開催日およびアンケートについては、法定展示同様とすること。
- ③採択終了後も住民が容易にアクセスできる場所で通年展示を行うこと。

以上

泉 翔太

差出人: 中野区 指導室
送信日時: 2024年7月12日金曜日 19:45
宛先: 泉 翔太
件名: FW:「教科書における性自認思想の取り扱いについて」ジェンダー医療研究会

中野区子ども・教育政策課 御中

日頃より、私たちの子供の教育に奔走していただき誠に有難うございます。教育委員会の皆様におかれましては、教科書選定に向けて日々お知恵を巡らせておられると拝察申し上げます。そこで当会、ジェンダー医療研究会から、海外のLGBT教育（ジェンダー教育／包括的性教育）について、上申いたします。

現在開催中の教科書展示会において、国語・英語・道徳・公民・歴史・保健体育などの教科で、LGBT及び性自認について言及している教科書が展示されていることを確認致しました。

しかし、先発国であるイギリスなどでジェンダー思想教育（性自認思想教育）は問題視され、公立校では廃止が検討されている、または既に廃止されている内容でもあります。

資料：英国スナク首相、性教育への懸念のさなかで「我々の大切な子供たちを守る」と約束。英国政府スポークスマンは「政府はユネスコの国際セクシュアリティ教育ガイダンスを学校に配布や宣伝などしていない」と発言。

[_https://www.telegraph.co.uk/politics/2023/05/20/sex-education-rishi-sunak-age-appropriate-rejects-unesco/](https://www.telegraph.co.uk/politics/2023/05/20/sex-education-rishi-sunak-age-appropriate-rejects-unesco/)

■懸念点

・「性自認」を「心の性」と説明してあるものが多いが、心に性別があるという根拠はどこにあるのだろうか？（Gakken：中学保健体育／日本文教出版：中学道徳1年、等）

・「性表現」とは「ピンク色を着れば女性表現」「スポーツのユニフォームを着れば男性表現」という固定観念を基にしてはいまいか？

・「人間の性はいくつある？」との問いかけは「性的指向・性自認の性」と「生物学的性別」のどちらを指しているのだろうか？

これらを混同させることには大きな問題がある。（大修館書店：中学保健体育／光村出版：道徳2年、等）

に注意)

- ・「出生時に割り当てられた性」という、科学者の中でも賛否の議論が分かれる文言が用いられている。
(教育出版：中学公民／Gakken：中学道徳 2 年)

資料：リチャード・ドーキンス博士による反論 [_https://note.com/wypcg332/n/n2fd87efc404f](https://note.com/wypcg332/n/n2fd87efc404f)

- 英国等で包括的性教育（性自認思想教育）が廃止されつつある理由
- ・性自認を尊重しないことで当事者が自殺するという説は、既に学説的に否定されている。

資料：キャス博士の報告書 [_https://www.jegma.jp/entry/CassReview031](https://www.jegma.jp/entry/CassReview031)

- ・2010 年頃に始まった包括的性教育（性の多様性教育／性自認教育）の影響等より、ジェンダー違和を訴える子供、特に女子が急増。

資料：

①キャス博士の報告書

[_https://www.jegma.jp/entry/CassReview023-](https://www.jegma.jp/entry/CassReview023-)

②トランスジェンダーになりたい少女たち（SNS・学校・医療が煽る流行の悲劇）

[_https://amzn.asia/d/0iHVPKyy](https://amzn.asia/d/0iHVPKyy)

- ・学校で社会的トランス（薬物抜きジェンダー移行・名前・服装・性別分けスペースの越境等）を推奨した場合、生徒は後に引けなくなり、子供なりの世間体のために不必要な医療的トランスへ進んでしまい、これが当事者の身体的健康を著しく損なっている。（日本教科書：中学道徳 2 年／教育出版：道徳 1 年、等に注意）

資料：「社会的移行（トランス）は「中立的な行為」ではなく、むしろ「子どもや若者の心理的機能の観点から重大な影響を与える可能性があるため、積極的な介入と見なすことが重要です」と述べています」

① [_https://www.jegma.jp/entry/CassReview031](https://www.jegma.jp/entry/CassReview031)

② [_https://www.jegma.jp/entry/WPATHFailes039-041](https://www.jegma.jp/entry/WPATHFailes039-041)

- ・また、女性を自認する男子を女子用更衣室やトイレ等、また女子体育部等に迎え入れることで、トラブルが増え、かつ女子の自尊心が破壊される恐れがある。（

Gakken：中学道徳3年に注意)

資料：トランスジェンダーの選手、女子大会出場禁止 全米の大学統括団体

[_https://www.sankei.com/article/20240409-GO7HZSCEIBJORLJIGKBBUMMNCU/](https://www.sankei.com/article/20240409-GO7HZSCEIBJORLJIGKBBUMMNCU/)

直近では2024年6月29日、「バイデン政権は未成年者に対するジェンダー肯定手術を支持しない」との報告がホワイトハウス報道官よりもたらされました。

資料：[_https://www.nytimes.com/2024/06/28/health/transgender-surgery-biden.html](https://www.nytimes.com/2024/06/28/health/transgender-surgery-biden.html)

性自認思想は欧米世界において現在進行形で物議を醸しているイデオロギーであり、教科書に是として記載するような公平性を担保できている概念と判断することはできません。

どうか、包括的性教育及び性自認思想の導入にあたっては、めまぐるしく変わりゆく世界の状況をよく把握された上で、慎重にご検討ください。

以下、英米の事情を報告した冊子のPDFをご紹介します。

■英国：キャス博士の報告書（ジェンダー肯定医療について）

[_https://note.com/api/v2/attachments/download/e7be171fdef6406e4fb05d11c14c8301](https://note.com/api/v2/attachments/download/e7be171fdef6406e4fb05d11c14c8301)

■米国：世界トランスジェンダーヘルス専門家協会の記録

[_https://note.com/api/v2/attachments/download/99ac7e5ec7704d1737b6985c556a4edc](https://note.com/api/v2/attachments/download/99ac7e5ec7704d1737b6985c556a4edc)

以上、当会からの警告及び報告と致します。

教育者皆様方の賢明なご判断を、ご期待申し上げます。

ジェンダー医療研究会

Japan Evidence-Based Gender Medicine Association

[_https://www.jegma.jp](https://www.jegma.jp)
